

⚠ 注意事項

取り付け前にチェック

- この商品は屋内用です。他の用途には使用しないでください。
- 設置面を強力につばって取り付けますので、取り付け跡が残る場合があります。
- ねじ/ホッチキスを使って設置する時、ホッチキス穴/ネジ穴が設置面に残るため、支障のない所で使用してください。
- 高温となる所、屋外や直射日光の当たる所、浴室や湿度の高い所、水が掛かる所には使用しないでください。
- 万一に備え、貴重品、危険物、破損の恐れのある物の周囲、燃焼器具、発熱器具、水道の蛇口の上や常時人がいる上には取り付けしないでください。
- 設置面に垂直に取り付けてください。
- 分解や改造は危険です。しないでください。
- 表示の取り付け範囲内で取り付けてください。
- 縦取付をする場合は大丸キャップを使用してください。
- 真鍮キリねじはしっかり締めてください。不十分な場合ボールが落下、転倒する原因になります。
- 取り付け後、状態の確認をしてください。

使用時にチェック

- 手すりやガードなど身体の保護を目的としての使用や本来の用途から逸脱した使用はしないでください。
- 急激な荷重、強く引っ張る、揺する、ぶら下がるなどの行為は落下やケガの原因になります。
- 万一に備え、危険物、貴重品、破損の恐れのあるものなどは載せたり、掛けたり、周囲に置いたりしないでください。
- 表示耐荷重の範囲内でご使用ください。耐荷重は実験値で保証値ではありません。
- 取り付け2～3日後、圧着状態を確認し、弱いときは圧着力を増してください。
- 使用により表面塗装に傷つく場合があることをご了承ください。
- 樹脂部品は特性上、油の付着や紫外線により劣化が生じます。
- 使用中に変形や破損、ひび割れなどがないか、定期的に点検してください。もし、異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止してください。
- 汚れは、水で薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤が残らないよう拭き取った後、乾いた布で拭き取ってください。たわし、磨き粉で磨くと傷がつきます。
- パイプに防錆油が付着していることがあります。拭き取ってから使用してください。
- 消臭剤、芳香剤、化粧品、整髪料、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、油脂、有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）の付着は変質劣化の原因になります。万一付着した場合は直に取り除いてください。
- 天災などの不可抗力や改造、経年劣化、製品本来の用途から逸脱した使用による故障、破損、事故に対する補償は致しません。

お問い合わせ



平安伸銅工業株式会社
TEL 06-6228-8986
9:30-17:00(土・日・祝日除く)
www.heianshindo.co.jp

材質表示

- 支柱 : 鉄/エポキシ樹脂粉体塗装
- 樹脂部品 : ABS樹脂/EVA樹脂
- ねじ : 真鍮/鉄/ABS樹脂
- ホッチキス針 : ステンレス

DESIGNED IN JAPAN / MADE IN CHINA 240117P



DRAW A LINE

001

Tension Rod A

002

Tension Rod B

取扱説明書



部品一覧



組み立て前に部品が揃っているか確認し、セットにして並べて置くと組み立てやすくなります。

商品の外観について

- 真鍮部品は、メッキをしない地色そのままです。使いこむにつれ色が変わります。
- スチールの塗装は、独特な質感が出るようマット塗装をしております。硬いものの先端などに当たると傷が付きます。
- 固定時はパイプをネジで貫通させるため、パイプに穴が開きます。暮らしたとともに素材の経年変化をお楽しみ下さい。

1

商品仕様

Tension Rod A

屋内専用

取付寸法	75～115 cm	
耐荷重	横取付	大丸キャップ 25～15 kg 小丸キャップ 20～10 kg
	縦取付	大丸キャップ 10 kg

Tension Rod B

屋内専用

取付寸法	115～190 cm	
耐荷重	横取付	大丸キャップ 15～5 kg 小丸キャップ 10～2.5 kg
	縦取付	大丸キャップ 10 kg

◎縦取付をする場合は大丸キャップを使用してください。◎耐荷重は圧着力が不足する場合や、取り付け幅、取り付け面の材質、施工状態により減少します。◎表示耐荷重は実験値であり、保証するものではありません。

設置場所について

横取付の場合

- コンクリートの壁や柱など十分に強度がある面
石膏ボードやベニヤ板などで下地に棧のある場所
- × 斜面や湾曲面、凸凹のある面
石膏ボードやベニヤ板などで下地に棧の無い場所

縦取付の場合

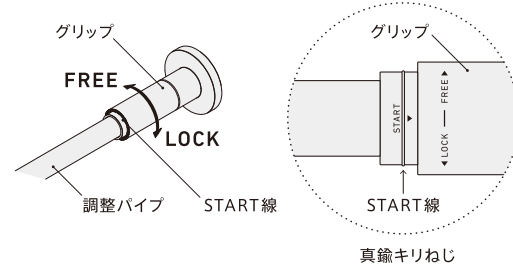
- コンクリートや石膏ボード、ベニヤ板などで下地に棧のあるしっかりした場所
- × 傾斜した面、畳や絨毯の上、和室天井面、固定されていない机の上

2

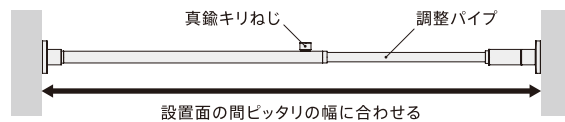
取り付け方法

● 横取付の場合

- 1 設置面が適合しているかどうかを確認してください。
(p.2の「設置場所について」を参照してください)
- 2 グリップを「LOCK」の方向に回し、グリップが動くことを確認し、グリップの端を「START線」の位置に戻します。
※必要以上の戻しすぎは破損の原因になります。

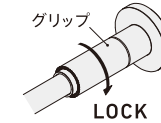


- 3 真鍮キリねじを本体のナットに1回転ほどねじ込みます。
※ねじ込み過ぎると調整パイプが引き出せなかったり、傷が付きます。
- 4 取り付ける壁間いっぱいに調整パイプを引き出し、真鍮キリねじをしっかりと締め付けます。調整パイプに穴が開いて長さが固定されます。



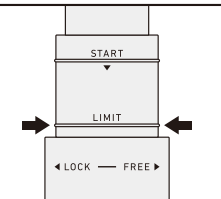
3

- 5 グリップを「LOCK」の方向に1~3周回し、仮固定します。
- 6 ポールが設置面に垂直になるように両端のキャップの取り付け位置を調整します。
- 7 さらに、設置面が破損しないように確認しながら、グリップを「LOCK」の方向に回して、しっかり圧着固定させます。
- 8 正しく取り付けられているか確認してから使用してください。



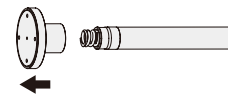
▲ 注意

「LIMIT線」を越える場合は、取り付け方法に誤りがあるか、取り付け場所が適していない可能性があります。取り付け面の強度を再度確認の上、はじめからやり直してください。



小丸キャップに取り換える方法

両端のキャップを引っぱって外し、小丸キャップに交換してください。



※キャップを外した時にバネが外れた場合は、パイプ内部の十字部分にバネを取り付け、キャップをはめてください。
(バネは片側にだけ付いています)

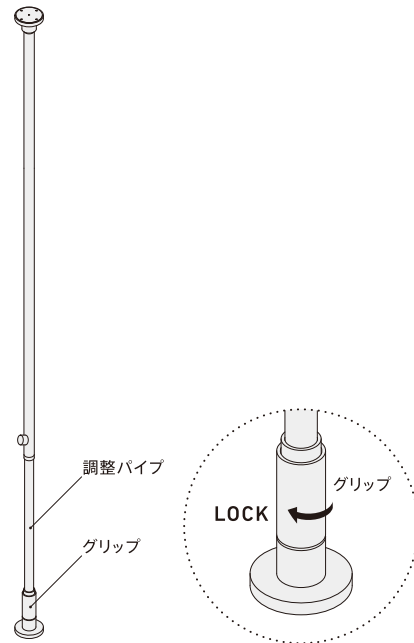


4

取り付け方法

● 縦取付の場合

取り付け手順は「横取付の場合」と同じです。
手順4では調整パイプを下側に向けてください。
ポールは設置面に垂直に取り付けてください。



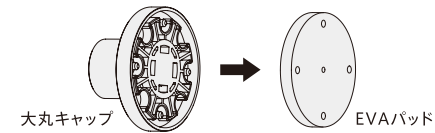
5

取り付け方法

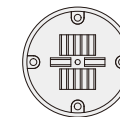
● 補足

ボードやベニヤに取り付ける場合は耐荷重が減少します。ボードにはホッチキス、ベニヤには木ねじを使用するとより安定して取り付けできます。ただし、取り付け跡が残りますので支障のない場所で使用してください。

- 1 EVAパッドをキャップから外し、本体の真鍮キリねじを緩めて調整パイプがスムーズに引き出せる状態にしておきます。

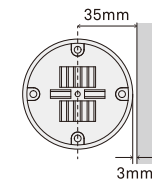


- 2 EVAパッドを設置面にあて、取り付け位置を決めます。床からの高さ、壁からの距離は左右同じになるように設定してください。
※EVAパッドの方向は右図のようにしてください。



壁に密着させて取り付ける場合はEVAパッドの中心が壁から35mmの位置に取り付けてください。

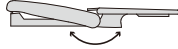
(壁とEVAパッドの縁は3mmのすき間が開きます)



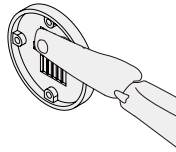
6

< 石膏ボードに取り付ける場合 >

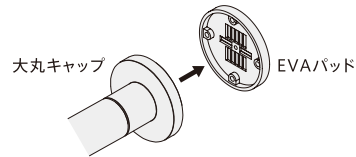
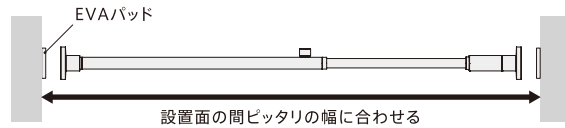
本体が180°以上開くタイプのホッチキスをご用意ください。(180°開放しないタイプやコンパクトタイプのホッチキスは使用不可)※付属の針が不足した場合は市販の10号サイズの針が使用できます。(ステンレス製推奨)



- 3** ホッチキス本体を180°開き、EVAパッドをしっかり壁面に押さえながら上下の全ての凹部分に1本づつホッチキスの針を打ち込みます。垂直に刺さるようにホッチキスを寝かせて、根元までしっかりと打ち込んでください。



- 4** 調整パイプを引出しながら壁に取り付いたEVAパッドにキャップを両側はめ込みます。(キャップを回転させながら入る位置を探してください)



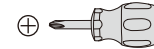
- 5** 両端のキャップを壁に押さえつけたまま、真鍮キリねじをしっかりと締め付けます。調整パイプに穴が開いて長さが固定されます。

- 6** 「LOCK」の方向にグリップを回して、設置面が破損しないように確認しながらしっかりと圧着固定させます。(回す方向はP4の手順5の図を参照) LIMIT線を越えないように注意してください。

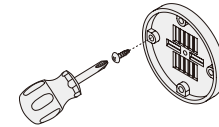
7

< ベニヤ板に固定する場合 >

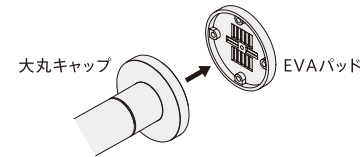
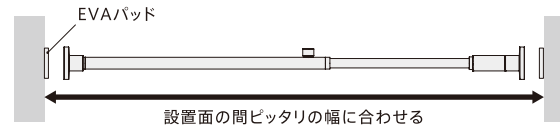
プラスドライバー(2番サイズ)をご用意ください。



- 3** EVAパッドを壁面に押さえつけながら、付属のねじを使って固定します。
※強く締めすぎると壁面の穴が大きくなり空回りします。ねじの頭部分が浮かない程度まで締めてください。



- 4** 調整パイプを引出しながら壁に取り付いたEVAパッドにキャップを両側はめ込みます。(キャップを回転させながら入る位置を探してください)



- 5** 両端のキャップを壁に押さえつけたまま、真鍮キリねじをしっかりと締め付けます。調整パイプに穴が開いて長さが固定されます。

- 6** 「LOCK」の方向にグリップを回して、設置面が破損しないように確認しながらしっかりと圧着固定させます。(回す方向はP4の手順5の図を参照) LIMIT線を越えないように注意してください。

8

⚠ 注意事項

取り付け前にチェック

- この商品は屋内専用です。他の用途には使用しないでください。
- 小児、及び監督を必要とする方の手の届かない所に設置して下さい。
- 分解や改造は危険ですのでしないでください。
- Tension Rodの耐荷重は、本製品を1kgとして計算してください。
- Tension Rod1本につき、Shelfは最大2つまで取り付けできます。
- Tension Rodが小丸キャップでは取付けできません。

使用時にチェック

- 表示耐荷重を超える物を載せたり、強い衝撃を加えないで下さい。棚が破損したり落下する恐れがあります。また、荷重はバランスよく載せてください。(耐荷重は実験値であり、保証値ではありません)
- この商品は屋内でご使用ください。また、他の用途には使用しないでください。
- 持ち上げたり、引っ張ったりすると棚が落下したり、Tension Rodが外れて怪我をしたり、床を傷付ける恐れがあります。
- 万一に備え、危険物・貴重品・壊れやすいもの等を掛けたり周囲に置いたりしないでください。
- 金具でポールや壁を擦ると傷や汚れが付くことがあります。
- 移動させる際は載せてあるものをすべて取り除いてから行ってください。
- 直射日光の当たる所、高温となる所、また浴室のような湿度の高い所では使用しないでください。(劣化やサビの原因になります)
- 使用中に変形や破損、ひび割れなどがないか、定期的に点検してください。もし、異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止してください。
- 木の汚れは柔かい布を固く絞って水拭きをし、その後、空拭きをしてください。
- 消臭剤、芳香剤、化粧品、整髪料、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、油脂、有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)の付着は変質劣化の原因となります。万一付着した場合はただちに取除いてください。
- 天災などの不可抗力や、不当な使用・改造等による故障・破損などに対する補償等はいたしかねます。

お問い合わせ



平安伸銅工業株式会社
TEL 06-6228-8986
9:30-17:00(土・日・祝日除く)
www.heianshindo.co.jp

材質表示

- 棚板 : 合板/ウレタン塗装
- 金具 : 鉄/エポキシ樹脂粉末塗装
- 樹脂部品 : EVA樹脂
- ねじ : 鉄/メッキ

DESIGNED IN JAPAN / MADE IN CHINA 240117P



DRAW A LINE

004

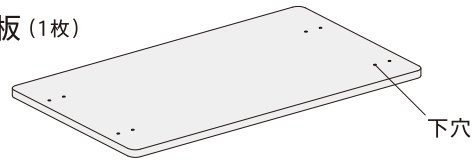
Shelf A

取扱説明書

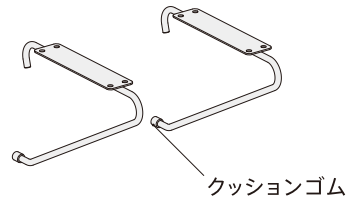


部品一覧

棚板 (1枚)



棚受け金具 (×2個)



ねじ (×8本)

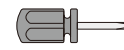


組み立て前に部品が揃っているか確認し、セットにして並べて置くと組み立てやすくなります。

1

設置について

Tension Rod A, B (横取付) 専用



組み立てにプラスドライバーが必要です。
※電動ドライバーは使用しないでください。

屋内専用

最大耐荷重 **1 kg**

- ◎Tension Rodの耐荷重は、本製品を1kgとして計算してください。
- ◎Tension Rod1本につき、Shelfは最大2つまで取り付けできます。
- ◎Tension Rodが小丸キャップでは取付けできません。

商品の外観について

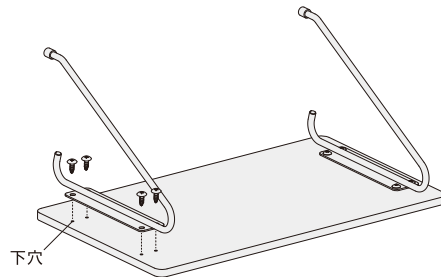
- 天然木を使用しているため、木目・節・色・艶などに個体差があります。
 - スチールの塗装は、独特な質感が出るようマット塗装をしております。硬いものの先端などに当たると傷が付きま
- 暮らしたともに素材の経年変化をお楽しみ下さい。

2

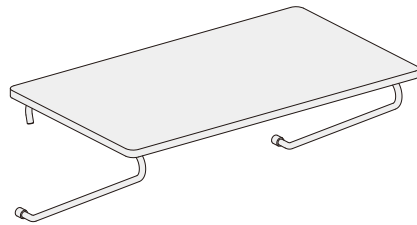
組み立て方法

- 1** 棚板の下穴と棚受け金具のねじ穴を合わせます。
プラスドライバーで真っ直ぐにねじ締め付けます。(8本)

※電動ドライバーは使用しないでください。
※必要以上の締め過ぎはねじが空回る原因になります。



- 2** 金具のねじのゆるみがないことを確認してください。



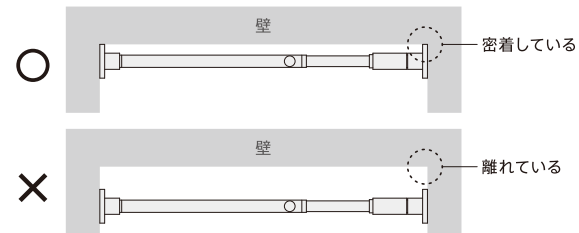
3

取り付け方法

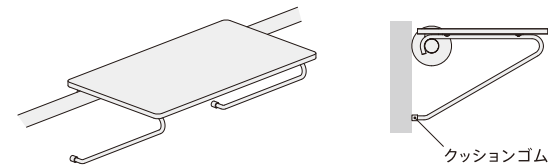
- 1** Tension Rod両端の大丸キャップが壁に密着していることを確認してください。

※壁面から離れた状態では使用できません。
※Tension Rodが小丸キャップでは取付けできません。

【上から見た図】



- 2** 棚受け金具のフックを、Tension Rodに載せて引っかけます。
※太いパイプと細いパイプにまたがって設置はしないでください。



クッションゴムが壁面に接地していることを確かめて取付け完了です。
棚板が水平になっているか定期的に確認してください。

4